

鉱山町ハーフソン調査結果

●日時 2021年5月4日(火) 10:00~12:00

●天候／気温 晴れ 13°C

●調査メンバー 10名、他スタッフ 佐々木め、佐々木は、白石、遠藤

No.	種名	時刻	確認地域	生死	成長	備考
1	ニホンカナヘビ	10:50	登別鉱山町	生	成体	・尾の先が自切状態 ・メスの個体
2	ニホンカナヘビ	10:55	同上	生	成体	・すぐ逃げてしまった
3	ヘビ (詳細不明)	11:05	同上	一	抜け殻	・完全なものではなかったので種は不明
4	エゾアカガエル	11:35	同上	生	幼生	・オタマジャクシ多数、大きさ2cmくらい
5	エゾサンショウウオ	11:40	同上	生	卵のう	・この2~3日で生まれたたまごもあった ・他にも中身が白くなっているもの（死んでいるかも）も確認



No.1 ニホンカナヘビ

石陰で日向ぼっこしている個体を確認しました。尾の先がすでに切れています (自切: 危険が迫った時、尾を自ら切り捨てる行動)。触るとザラザラしている感触です。メスの個体でした。



No.4 エゾアカガエル (幼生)

池の中で、たくさんのオタマジャクシが動いていました。何か所か、かたまっている状態でいるところがありました。大きさは2cmくらい。卵塊も確認しました。成体は確認することができませんでした。



No.5 エゾサンショウウオ (卵のう)

池にはえる植物や枝に産みつけられていました。孵化している幼生はまだいないようです。浅く水がたまっているところでも確認しましたが、卵内の胚が白くなっている部分がみられました。